

'17

後期日程

小論文 I

(医学部保健学科)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は1冊(6頁)、解答用紙は4枚、下書用紙は1枚です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 氏名と受験番号は解答用紙の所定の欄に記入してください。
4. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

1 次の文章を読んで、問1～4に答えなさい。

格差に対しては、いろいろな意見がある。一方の極には、世論調査で7割を超える「格差が拡大⁽¹⁾していくことは問題だ」という意見がある。何らかの対処をすべきということになるだろう。もう一つの極には、「格差のない社会はあり得ない」という意見もある。国会の場において、こう言い放ったのは、日本の首相(当時)、小泉純一郎だ。

確かに「格差のない社会はあり得ない」だろう。「不老長寿」のように、望んでも得られないものであれば、問題にしても虚しいだけだ。しかし、これをもって「議論の余地なし」であるかのような論法は、論点のすり替えだ。もちろん、アメリカにも北欧にも格差はある。が、格差の程度はまったく違う。だから、「格差のない社会はあり得ない」としても、格差拡大を放置していいことを意味しない。格差をいまより拡大するのか、小さくすべきなのかについては、「議論の余地は大いにあり」なのだ。私が問うのは、格差の存在ではない、格差の大きさである。

だが、所得格差に代表される社会経済的な格差の話となると、議論をしても話がなかなかまとまらない。なぜなら、「努力や能力が評価されないのは悪平等だ」とか、「平等を追求して格差を減らすと活力や効率が低下する」「経済の成長のためには平等を多少犠牲にしても許容される」などといわれると、「格差にもいい面がある」「必要悪だから仕方ない」と思えるからだ。

つまり、格差にも「よい格差」と「悪い格差」がある。あるいは、格差にも「いい面」と「悪い面」があるから「価値観しだい」となる。格差を巡っては、そんな平行線のまま答えがでない「不毛な論争」⁽³⁾に終始している感がある。しかし、「健康格差」は「経済格差」とは違う、と私は思う。健康格差が「悪い格差」であることには、多くの人が同意する。従来格差論争には「健康格差」の視点が抜け落ちていた。それを持ち込むことは、「悪い格差」をみえやすくして、格差論争を不毛なものから一歩進めるものになる。私が問いたいのは、「悪い格差」まで放置しておいていいのか、である。

では、なぜ健康格差は「悪い格差」だと言えるのか、それは生存権という基本的人権に関わるからだ。

能力に優れた者と劣る者、努力した者としなかった者への報酬格差は、どの程度が適切なのかという判断は難しい。しかし、「生死の問題」や「いのちの格差」となれば話が違う。「いのち」は世界人権宣言において、「すべての者は、生命、自由及び身体の安全に対する権利を有する」と、基本的人権の一つとして認められている。この価値観は多くの国々に共通であり、「それぞれの価値判断しだい」の問題ではない。能力が劣るから「報酬が低くても当然だ」と主張する者はいても、「早く死ぬのも当然だ」とまで(公然と)言う者がいるだろうか。

つまり、健康格差の実態を明らかにすることは、「悪い格差」をみえやすくすることである。WHO が「すべての人に健康を(Health for All)」をスローガンに掲げているのは、悪い格差は放置すべきではないからだ。

もう一つ、健康格差を問題にする意義は、生死が、評価尺度および価値として⁽⁴⁾もっている特徴によるものだ。才能や努力や成果を評価するのは意外に難しい。報酬面でも、お金以外に名誉や権力をはじめ非金銭的な報酬もいろいろある。評価すべき尺度がいろいろあって、どれが「絶対」とも言い切れない。つまり、何を最も重視するかは、「価値観しだい」で「相対的」になってしまう。

しかし、生死となると、これまた話は違う。死は、測定上も価値の面でも、「絶対的」である。死んでしまえば「おしまい」だから。お金が増えてうれしいのも、勝ち負けも、その前提は「生きていること」だ。世論調査をみても、「最後はお金よりも健康」という声は多い。

このように、「いのちの格差」「健康格差」は多くの人が認める価値(生存権・健康)を基礎とし、絶対的尺度による事実に基づいた論議を可能とする。それで論争に決着がつくほど、格差の問題は簡単ではない。しかし「悪い格差」をみえやすくすることで、社会のあり方を考える確かなよりどころの一つにはなる。

(近藤克則：「『健康格差社会』を生き抜く」朝日新書より一部改変して引用)

問 1 下線部⁽¹⁾いろいろな意見とはどのような意見ですか，箇条書きで2つ挙げなさい。

問 2 下線部⁽²⁾論点のすり替えに関して著者はどのような論点が大事だと述べていますか，簡潔に説明しなさい。

問 3 下線部⁽³⁾不毛な論争とはどのような論争ですか，80字以内で説明しなさい。

問 4 下線部⁽⁴⁾生死が，評価尺度および価値としてもっている特徴とはどのような特徴ですか，簡潔に説明しなさい。

2

次の英文を読んで、問1～5に日本語で答えなさい。

It's not easy to be cheerful in a cold, hard world. It hurts when others criticize our looks or behavior. Harsh words and negative comments can lead to depression and a loss of self-esteem. What can we do to make the world a happier place?

One way to bring sunshine into people's lives is through compliments. A compliment is an expression of praise or admiration. Complimenting people shows that we're thinking of them, respect them and wish them well. How do you compliment people? ⁽¹⁾ It's easy! First, open your eyes, look around and become aware of others. Is your colleague wearing a nice tie? Did your classmate get a haircut? Has your friend bought a new purse? Try to notice how people look, what they do and how they act.

Next, verbalize your feelings. If someone looks nice, say so. If they're good at something, tell them. True compliments come from the heart, not like shallow flattery meant to manipulate others.

The most common ways to compliment people are to praise their appearance ("I like your hairstyle!"), comment on their belongings ("That's a nice handbag you have!") or admire their skills ("You really speak English well!"). People may blush but they'll feel happy inside. Everyone likes to be complimented!

Learning to compliment people is one important skill. Accepting compliments gracefully is another. What should you do when someone compliments you? There are several ways to respond. If someone says, "I like your shoes," say "Thanks!" If they say, "That's a nice pen," just reply, "Do you think so?" If they say, "You're a great soccer player!" tell them, "That's nice of you to say so."

There's a famous story about compliments called Love and the Cabbie ⁽²⁾ by the American humorist Art Buchwald. The story takes place in New York, a city famous for its grumpy neighbors and rude citizens. A guy decides to

fight this negativity by complimenting 10 different people each day. Every time he takes a taxi, he compliments the driver (“You’re very skillful!”). Whenever he passes a building site, he praises the construction workers (“That’s a great job you’re doing!”). By giving compliments each day, he aims to make people happy, boost morale and make his hometown a better place.

In class, my students and I study this story. Then, I give them a special homework task: “Compliment three people in our city, then write a report about what happens.” For the following week, students are busy complimenting friends and family, bus drivers and waiters, police officers and train staff. For one short week, our city becomes a very happy place!

Compliments are free and easy to give. They bring smiles to people’s faces and brighten the lives of others. So, don’t be shy. Compliment someone today!

(The Japan Times ST, February 5, 2016 より引用)

(注) blush	顔をあからめる
grumpy	気むずかしい
negativity	消極性
boost morale	志気を高める

問 1 著者は、きつい言葉や否定的な指摘はどのような影響があると述べているか、書きなさい。

問 2 下線部(1)の意味する具体的内容を2つ述べなさい。

問 3 人をほめるうえで、最も一般的な方法を3つあげなさい。

問 4 下線部(2)の物語に登場する男性の決意について、簡潔に説明しなさい。

問 5 著者が生徒に出している特別な宿題とは何か、説明しなさい。